

温度可変ホール測定装置

(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・ 室温，低温，高温で抵抗率、キャリア濃度の測定が可能であるが、どの温度で測定を行いたいのか？室温だけならば比較的簡単に測定が可能である。
- ・ 測定したい試料がどのようなものなのか？
- ・ 以上の情報について(3)の連絡者に説明し、使用が可能かどうか判断してもらう。



(2) 設備使用に関する注意事項

- ・ 壊れやすい部分が多いので、スーパーユーザーより使用方法の説明を受け、最初の1,2回はスーパーユーザーとともに測定を行うこと。
- ・ 液体ヘリウムを使った低温測定は、液体ヘリウムの使用方法を修得していることが必要。

(3) まず、最初に、だれに連絡をとればよいのか

- ・ 情報・ネットワーク工学専攻 野崎 眞次
shinji.nozaki@uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- ・ 森元 諄
morimoto@semidevicelab.es.uec.ac.jp

最先端三次元形状測定・評価システム



(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・ 事前に測定対象と測定目的を明らかにしたうえで、管理者にお問い合わせください。基本機能の説明、測定計画立案の支援、予習のための講習会のテキストおよび講習会動画の貸出を行います、
- ・ 利用登録された方を対象に毎年4月下旬から5月上旬にかけて使用法説明会を開催します。基本操作に加えて、測定計画に沿った、操作講習を行います。

(2) 設備使用に関する注意事項

- ・ 多彩な機能を有する測定機です。測定対象と測定目的に合わせて、測定計画の立案（測定物の固定治具、測定センサー、ソフトウェアの選択、測定手順等）が必要となります。初めて使用する場合は、(3)の設備管理者に連絡の上、ご相談ください。

(3) まず、最初に、だれに連絡をとればよいのか

- ・ 知能機械工学専攻 金森哉吏
kanamori@mce.uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- 知能機械工学専攻 金森哉吏
スーパーユーザー：金森研

ZEISS PRISMO Navigator 5
S-ACC mass

電子線元素状態分析装置(EPMA)

(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・ 毎年、装置メーカー技術者による初心者講習会を実施しています（時期は未定）。設備を使用したことのない研究室においては、ひとりには出席するようにしてください。
- ・ 初心者講習会に出席できなかった場合は、スーパーユーザが使用法を教えます。まず申請前に、(3)の設備管理者に連絡してください。



(2) 設備使用に関する注意事項

- ・ 研究設備センター予約システムを用いて使用予約を行うと、管理者から確認メールが届きます。実験室の鍵の受け渡しなど、メールの指示に従ってください。

(3) まず、最初に、だれに連絡をとればよいのか

- ・ 基盤理工学専攻，中村仁
jin.nakamura@uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- ・ 初心者講習会：
日本電子（株）のEPMA技術者
- ・ 説明会を逃した場合：
スーパーユーザ：

マクロフォトルミネッセンス (PL) 装置

(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・ どの温度（室温，低温）でPL（発光スペクトル）測定を行いたいのか？室温だけならば比較的簡単に測定が可能である。

発光波長はいくつか？

サンプル形状は？

- ・ 上記について (3)の連絡者に，利用希望とともに詳細を説明し、使用が可能か判断してもらう。

(2) 設備使用に関する注意事項

- ・ 壊れやすい部分が多いので，スーパーユーザーより使用方法の説明を受けること。
- ・ 光学系の改造は一切不可。

(3) まず，最初に，だれに連絡をとればよいのか

- ・ 情報・ネットワーク工学専攻 内田和男
uchida@uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- ・ 櫻井 翔太
sakurai@semidevicelab.es.uec.ac.jp



絶対PL量子収率測定装置



(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・ 化合物の汚染に敏感な装置である。
- ・ 実験における不注意の汚染は，測定不能により他研究室に迷惑が及ぶ。併せて，高額な修理費を伴う（場合によっては弁償）。

(2) 設備使用に関する注意事項

- ・ 溶液用の石英セル，粉末・固体試料用の石英シャーレを貸出しする。
- ・ 石英器具を大事に扱うこと。破損の場合は，一部を研究室から弁償していただく。
- ・ 化合物の汚染に敏感な装置であるため，注意が必要。不注意の汚染に対しては，研究室から弁償していただく可能性がある。
- ・ 特に粉末試料は汚染につながりやすいので，スーパーユーザーにしっかり相談すること。

(3) まず，最初に，だれに連絡をとればよいのか

- ・ 基盤理工学専攻 平野 誉
thirano@uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- ・ 平野先生がスーパーユーザを手配

二重収束質量分析計

(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・ EI (電子衝撃)イオン化法による低分解能測定が標準.
GC/MS利用, FAB測定, 高分解能測定にはすぐに対応できない (要相談) .

(2) 設備使用に関する注意事項

- ・ イオン源用のガラスチューブは各研究室で準備 (日本電子より購入可) .
- ・ 装置の真空系の仕組みを理解した上で使用すること.
- ・ 化合物の大量導入は汚染につながる.
汚染の場合は, イオン源の洗浄が必要.

(3) まず, 最初に, だれに連絡をとればよいのか

- ・ 基盤理工学専攻 平野 誉
thirano@uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- ・ 平野先生がスーパーユーザを手配



パルスFT NMR装置（溶液専用，500MHz）



(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・自分の所属する研究室にこの設備を使った人がいる場合は，その人に使用法を教えてもらうこと。
（その後，研究室の先生に利用申請をしてもらう）
- ・自分の所属する研究室にこの設備を使った人がいない場合は，(3)に連絡して，その旨を伝えること。

(2) 設備使用に関する注意事項

- ・NMRガラスチューブ，溶媒は，各研究室で購入する。
- ・マグネットへの磁性体の混入には，特に気を付けること。
（磁性のあるもの，ゴミ等は，絶対にマグネットに入れてはいけない。）

(3) まず，最初に，だれに連絡をとればよいのか

- ・研究設備センター 桑原 大介
kuwahara@cia.uec.ac.jp
基盤理工学専攻 平野 誉
hirano@pc.uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- ・桑原 大介(研究設備センター)

パルスFT NMR装置（固体専用，300MHz）



(1) 利用申請に先立つ注意事項

- ・ 使用法の習得が大変難しい装置です。
初心者の場合は，設備管理者が，1週間ほどマンツーマンで測定指導を行うことにより，基本測定が可能となります。
（応用測定の場合は，その都度，設備管理者に相談していただくこととなります。）
- ・ このため，設備管理者との共同研究という形で設備を使用していただくこととなります。

(2) 設備使用に関する注意事項

- ・ サンプルロータは，各研究室で購入する。
- ・ マグネットへの磁性体の混入には，特に気を付けること。
（磁性のあるもの，ゴミ等は，絶対にマグネットに入れてはいけない。）

(3) まず，最初に，だれに連絡をとればよいのか

- ・ 研究設備センター 桑原 大介
kuwahara@cia.uec.ac.jp

(4) 使用法を具体的に教えてもらえるのはだれか

- ・ 桑原 大介(研究設備センター)